総務文教常任委員会記録

平成29年４月14日（金）

場所：鳥栖市議会　第１委員会室

平成29年４月14日　日程及び付議事件

日　次	月　　日	摘　　　　　　要
第１日	４月14日（金）	案　件 　現地視察 　　鳥栖市学校給食センター 　鳥栖市学校給食センターの現地視察を終えて 　小中学校男子トイレ小便器の取り扱いについて 〔質疑〕 　下野園の現地視察を終えて 〔協議〕

1　出席委員氏名

委員長	古賀　和仁	委　員	中村　直人
副委員長	下田　寛	〃	久保山　博幸
委　員	小石　弘和	〃	松隈　清之
〃	尼寺　省悟		

2　欠席委員氏名

なし

3　説明のため出席した者の職氏名

教育長	天野　昌明
教育次長	白水　隆弘
教育総務課長	江嵜　充伸
教育総務課総務係長	原　祥雄

4　出席した議会事務局職員氏名

議事調査係主査　武田　隆洋

5　日　程

現地視察

　鳥栖市学校給食センター

鳥栖市学校給食センターの現地視察を終えて

小中学校男子トイレ小便器の取り扱いについて

〔質疑〕

下野園の現地視察を終えて

〔協議〕

6　傍聴者

なし

7　その他

なし

自　午前10時

現地視察

鳥栖市学校給食センター

至　午前10時55分

ｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓ

開会

午前11時６分

開議

古賀和仁委員長

本日の総務文教常任委員会を開会いたします。

ｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓｓ

鳥栖市学校給食センターの現地視察を終えて

古賀和仁委員長

午前中の現地視察、大変御苦労さまでございました。

それを踏まえて、きょうの給食センターの現地視察とそれからトイレについての取り扱いについて、そのほかを議題として本日の委員会を開きたいと思います。

まず、現地について何か、最初、委員さんのほうからあれば。

尼寺省悟委員

ちょっと答えられるかどうかは別としてなんですけどね。結局さ、八十何カ所ボードが傷ついとったと、八十何カ所やったかね。（「65カ所」と呼ぶ者あり）65カ所か。

それはクリアランスがないからだというようなことで、クリアランスがね、あるべきクリアランスがなかったからなんだという話であったと。あるべきクリアランス、６センチ、なかった。

それで、実際現場に行って見て、あるところとないところがあったと。ないところについ

ても傷があってるところもあれば、ないところもあると。

トータルとして見てさ、やはりあれだけの、なんっちゅうか、六十何カ所落ちた、その原因っちゅうんかさ、その辺について実際見てみて、あなた方はどういうふうに考えたんか。

ちょっと我々としてはね、私は、そういった専門家じゃないからその辺よくわからんけどね。少なくともきょう、真っさらな状態を見てみて、どうのようにあなた方が考えてあるか、ちょっとそれを聞きたいんですけど。

白水隆弘教育次長

皆さん御苦労様でございました。また、貴重なお時間いただきましてありがとうございます。

今の御質問でございますけれども、きょう、ごらんいただきましたところが、去年の地震以来、初めて目視できるようにしたところでございます。

それで、ごらんになってわかりますように、金物についてのきちんとした寸法が、今おっしゃられているクリアランスに関しての寸法がきちっととれてないというのは、六十数カ所どころじゃなくて随所にございます。また、その仕上げも悪いというようなところもございます。

私も、先日からきょうにかけて初めて見させていただきましたけれども、率直な印象ですけれども、非常に始末が悪い現場でございます。

それで、今の御質問でございますけれども、あの状況で何が起こってボードが破損したのかというのはですね、ちょっと揺れ方とか、そういったものについては今検証委員会のほうで検証していただいておりますので、その辺の原因については、私もちょっとわからないところもございますが、今申しましたように、金物の始末、それからボードの始末ですね、端折りと言いますか、最終的な始末ですけれども。の、悪い部分、目で見て非常によくない部分がございますので、それは原因の一端ではなかろうかとは考えられます。

よろしゅうございますでしょうか。

尼寺省悟委員

あれでもってね、やっぱり建築業者、設計業者に対して施工不良だと、言いきれる。

白水隆弘教育次長

私が、あれを建てているところの現場に出くわしておれば、恐らく手直しです。

残念ながら、私、２年前に来たときには既にもう、ああいうものは終わっておりまして、現場を見ることができなかったんですけれども、現場を目の前にしておれば、当然手直しと考えます。

以上です。

古賀和仁委員長

ほかに。

〔発言する者なし〕

なければ、現地視察についてはこれで（発言する者あり）

下田寛委員

第三者委員会もこの前あって、その結果と、今後の流れというのをざっと教えていただければと思うんですが。

白水隆弘教育次長

現在、検証委員会におきまして、２度の現地の検証をいただいております。業者において、細々なデータもとっていただいておりますので、そのデータを今整理しておるところでございます。

それで、来月早々に、今年度第２回目の検証委員会を開催していただきますので、そこでもって先生方がごらんになった現場の状況、それから業者によります寸法等が初めて突合されますので、その状況を持った上で、今後、例えば施工業者、設計業者に対して、どのような法的な措置を含めたですね、方法がとれるのかということをお話いただくことになろうかと考えております。

それで、この件に関しましては、前任の園木がある程度、グランドスケジュールを申しておりましたとおりに、６月の定例会にはつまびらかにできるように、今先生方にもお願いして、整理をしていただいているところでございます。

以上でございます。

古賀和仁委員長

ほかにありますか。

〔発言する者なし〕

なければ現地視察については、これで終わりたいと思います。

ᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕ

小中学校男子トイレ小便器の取り扱いについて

古賀和仁委員長

次に、現地のほうで説明を受けましたトイレについて。現地で説明を受けておりますので、質疑があれば受けたいと思います。

松隈清之委員

これは、何でこのアンケートをとろうと思ったんですかね、そもそも。

もともと洋式化っていうやつをする、予算も含めて要求するときにはこうじゃなかった、最初の予算はこうじゃなかったんでしょう。何で、予算要求した後でこのアンケートをとったのかなと思って。

江嵜充伸教育総務課長

このアンケートをとった理由でございますけれども、基本的にトイレの改修というのは、これまで大規模改修事業に合わせて改修を行ってまいりました。ですけれども、昨年度ＰＴＡ連合会等々から御要望もございましたし、市議会のほうでもトイレの改修については早急に行うようにというような議決のほうもいただいておりました。

それで、大規模改修とは分けてトイレの改修を先行して、短期間の間で行っていくに当たりまして、一応、弥生が丘小と田代中を除く小中学校について、今後数年をかけてトイレの改修を行っていくという計画にしておりますけれども、この改修を行った次の改修までに10年、20年、また次の改修が出てくるときには、そういう先になります。一つは、そういう期間的な問題もございますけれども、今回、約10校のトイレの改修を行う予定にしておりますけれども、この際、この際と言いますか、この小便器について、非常にこれまで悪臭、古くなると特に悪臭がひどいと言われているのがこの、男子の小便器が特に悪臭が強い原因になっているということが一つございます。

それと、今、子供たちが特に排便についていろんなこう、要は個室、大便器のほうに入るとからかわれたりするというようなことで、現地でも説明しましたように、このアンケート調査の中に理由について書いておりますけれども、この際、快適に学校生活の中でトイレを使っていただきたいというようなこともございまして、私どもとしては、小便器をなくして大便器の洋式化と、洋式化の大便器を設置して個室化にしたほうがいいんじゃないかというようなこともございまして、まず、その前に、それでは実際使う子供たちがどういう意見を持っているかというようなことをアンケート調査を行った結果、最終的な判断をしようというようなことになりまして、このアンケート調査をとった次第でございます。

それと、もう一つは、小中学校のほうが避難所の指定を受けております。それで、災害時に避難されて来られる住民の方で、当然、高齢者、身体障害者の方もいらっしゃるかと思います。

それで、そういう方々が避難されて来られたときに、基本的には体育館での避難というようなことになるかと思いますけれども、当然、トイレについては、体育館は数が限られておりますので、教室のトイレを使用するというようなこともあるかと思います。

そういったときに、やはり洋式の大便器、特に個室の数が多ければ、それにこしたことはないんじゃないかというようなこともございまして、まずはこのアンケートを、学校のほうにはアンケート調査をとって小便器の撤去について一定御理解いただければ、個室化にしたいというようなことで、アンケートをとらせていただいた次第でございます。

以上でございます。

松隈清之委員

ということは、教育委員会が個室化したいと思ったわけね、基本的には。

アンケートの中で、小便器をなくすことに関していろんな御意見があって、なるほどなあというのは結構あるんですよ。

それこそ、世の中全部そうなってるわけでもないのに、もう小中学校でそういう習慣にさせるとね、それこそ小便器でもうやらなくなるみたいな、そういうことも考えられるよね。子供が小さいころからそういうのに習慣づけられると。

だから、ここ書いてあるのはそれぞれ、ああ、なるほどねっていう意見あるんですよね。それはどうなんですか。

天野昌明教育長

まず、教育委員会としての方向性、トイレのコンセプトをどう考えるかというところでですね、随分悩みました。正直言って。

しかし、もう今回改修すればあと20年も、10年、20年改修はないだろうということであるとかですね。今、課長のほうが説明した、もろもろのことも含めて、やっぱりここで思い切って個室化に向けていくべきじゃないかというので、教育委員会のほうは事実上考え方まとまりましたし、それから、定例教育委員会の場で委員さん方と話し合う中で、やはり、もう個室化でいくべきじゃないだろうかというふうなこともありました。

そういうことを含めまして、やっぱり保護者であるとか学校の先生方の考えがどうかなというところもやっぱり見ていくべきだろうということでアンケートをしました。

意外と、こういう結果が出てまして、今、松隈委員さん言われますように、いろいろメリット、デメリットありますので、こうなってしまえばもう立ちションをできなくなるんじゃないかなって、逆に、変なあれですけど。そういったことも含めて、やっぱり検討すべきものがあるんじゃないかなということでいっぱい出ております。

それから、ほかにも掃除のことだとか、飛び散ったりするので掃除のことであるとか、高さのことであるとかそういったもろもろのことがあるんですけれども、しかし、やっぱり今後、これから先を考えて、各家にはもう小便器がないというふうな時代も来てますし、そういったことを含めて、やっぱりここでは個室化した形のトイレということを考えていこうと

いう方向で一応決めて、きょうお示ししたということです。

以上です。

松隈清之委員

ということは、弥生が丘小と田代中も全部個室化するということですか。そうせないかんよね、考え方がそうであれば。

原祥雄教育総務課総務係長

松隈委員の御質問の弥生が丘小と田代中学校につきましては、時期を見て同じような改修をやっていきたいというふうに考えております。と申しますのが、トイレの改修に当たりまして、国のほうの補助を受けるような形で考えております。

弥生が丘小は建設後丸８年、田代中学校に関しましては改修をしてまだ１年ということになってまいりますので、時期を見て同じような改修を進めていきたいというふうに思っております。

以上です。

松隈清之委員

トイレの数ですよね。数は、当然、個室化すると絶対数が減るんだよね。小便器と大便器は要は一緒になるわけじゃないですか、今度、洋式化するっていうことで。

そしたら、数ってどれくらい減るんですかね。

原祥雄教育総務課総務係長

小便器が減になる数というのはまだ設計中ですので、具体的な数値はお答えできませんけれども、考え方といたしましては、男女のトイレがありまして、女子は賄えているというふうに思っております。

全校児童、仮に800人の学校であったとして、およそ400人は女子だろうと。女子の数と男子の数は児童数が同じであれば、女子トイレと同じような仕様になれば、男子トイレに関して便器が不足するというようなことはないというふうに考えております。

和式便器を洋式便器にかえたことで、トイレブースが広がることで、確かに減る分というのも、女子トイレにおいて減る分というのも出てまいりますけれども、児童生徒数の人数からトイレの器具数を算定した場合に、基準を下回るような数値にはならないということで算定をいたしております。

以上です。

松隈清之委員

大勢が入って来ることっていうのは、本当に避難場とかね、災害のときぐらいしかないかもしれんけど、イベントなんかだとね、女子トイレはめっちゃ渋滞してると。男子トイレは

割と回転するけど、女子トイレはずっと渋滞してる。

だって、それぞれ洋式が１個しかないからなのかもしれないけど、もちろんそういうことはなかなか想定されづらい、そんだけの大人数が来るような避難が想定されづらいかもしれんし、そこまで考えんでいいのかもしれんけど、回転率ははるかにやっぱ悪いよね。

それで、どこが一番メーンなのか、目的とするところなのかがよく、ちょっとまだ伝わってきてないんだけれども、例えばにおいとかね、ということであれば、今ほら、大体自動洗浄で時々水が流れてあんまりにおいがしないようなやつもあるし、どこにメーンを置いているのかなあと。

それこそ、ＬＧＢＴとかっていうことであるんだったらそこが一番だとかさ。

例えば、学校で、要はうんこするとからかわれるということが一番の目的なのか。でもそこは、確かに我々の世代のときはそうだったけれども、そこは教育であきらめちゃうのかなっていう気がするんですよね。ああ、もうそこは教育としてあきらめるわけだと。環境で解決させるわけだと、とも思うよね。

だから、何を、これで、本当にやりたいのかなっていう。

いや、個人の家はね、そりゃスペースが限られてるんだから、なるだけ１個で済ませたいと思いますよ。ただ、一応公共のスペースだからね。特に学校だし、やっぱりね、何を本当に目的としてやるのかなっていうのはちょっとまだ、どこが一番のメーンなんですかね。

原祥雄教育総務課総務係長

松隈委員の御質問でございますけれども、市のほうとしては、まず先ほどの江嵜課長の説明と重複をしてしまうかもしれませんけれども、昨年９月市議会におきまして、トイレの改修の要望がＰＴＡのほうから出されまして決議のほうをいただいたところでございます。

その内容といたしましては、洋式化をまず図ってほしいということと、トイレの悪臭、汚臭対策を行ってほしいということ、この２つが大きなものであったというふうに思っております。

中心としては、そういった改修ですね、その解消をやりたいというふうに思っておったところなんですけれども、そこに今回、先ほど江嵜課長が申しましたように、今後、恐らく20年はトイレの改修はできないだろうと。そうしたときに、小便器が果たして置いておくほうか望ましいのかどうなのかというようなことを保護者に問いたいがために、このアンケートをとらせていただいたんですね。

ですので、先ほどアンケートをなぜとったのかという理由につきましては、小便器の取り扱いについて保護者の意見を聞いていなかったからアンケートをとらせていただいたところなんですね。これが一つ、アンケートをとった理由です。

それで、市がどういう方向に向かうのかということを今御質問いただきましたけれども、市としては、潜在的な性的マイノリティがおられるという事実を――どの子がどうだということはつかんでおりませんけれども、そういった潜在的な性的マイノリティがいるというような報告があっていますので、それに対しても今回配慮をすべきではないかということで、教育委員会の中で意見を取りまとめて協議をしたところでございます。

ですので、小便器が、もし万が一、このアンケート結果が小便器を残してほしいという声が大多数を占めておればですね、また答えは変わったのかなというふうにも思っておりますけれども、アンケート結果を踏まえて小便器を外すということで進めていきたいというふうに考えておるところです。

松隈清之委員

その、言われるアンケートは、この保護者分ということかな。子供たちの分は別にあったのかな、これ。

原祥雄教育総務課総務係長

今回のアンケートにつきましては、卒業式後ということでしたので、５年生以下、そして中学２年生以下ということで、子供たちからはいただいておりません。保護者からと教職員のみのアンケートというふうになっております。

松隈清之委員

そうするとね、親は（「済みません。ちょっと補足いいですか」と呼ぶ者あり）

江嵜充伸教育総務課長

今のアンケート調査、保護者分と書いてありますけれども、これ、あくまでも各御家庭で、保護者の方に子供さんの御意見を聞いた上でアンケート調査に答えてくださいというようなことでお願いをしたところでございます。

松隈清之委員

この保護者分、これ子供も含めてなのかもしれないけど、確かにこっちだとね、やっぱり見ると、過半数はもう小便器残さないでっていう個室化、洋式化が多いんですよね。

ただ、教職員は一転ね、どっちかっていうと残す派なんですよ。ふだんから学校で接している教職員の方はね。

これ、別に自分たちのところのことを聞いたわけじゃないんでしょう。全体のトイレのことを聞いたんでしょうこれ、きっと。アンケートとしては。職員トイレのことを聞いたわけじゃないですよね、アンケートで。

そうするとね、子供は確かに個室化のほうがいいかもしれない。俺も子供だったらそう言うかもしれない。

ただ、要は、単に何が好まれるかで決める問題じゃなかったりもすると思うんですよね。やっぱり、一種の教育、社会も教育の場でもあるけん、実際、世の中がそうなっているんなら、そうしていくべきかもしれんけど。

だから、においだったらにおいが出ないような自動洗浄つきのやつの小便器にかえるとかさ、どうせこれも、トイレ全部変えるっていうことなんだから。必ずしも、全てが全てみんな小便器残さないでいいって感じでもないんですよね、このアンケートでいくと。

だからちょっとね、今後どのように進められるかはわからんけど、してもらいたいようにするばっかりじゃないと思うよ、基本的には。幾ら、その要望があったとしても。考え方があって、あえてそうしないということもあるかもしれないし。

これ、全国的にありますよ、こういう議論、確かに。今言われるように、こういう全部個室にするところもある、まだ少数だけど。全国的には。

ただ、それが本当にいいことなのかどうかは、もうちょっと考えたほうがいいんじゃないかなあと、御意見を申し上げておきます。

古賀和仁委員長

ほかに。

なければ質疑を（発言する者あり）

尼寺省悟委員

これ、結論としてね、最後のページに、小中学校施設の小便器について洋式便器の更新を図ることとしたいと、いうことだから、こういうふうにするということで教育委員会としてはこの方向でやるという決定をしたと。

そういう報告やね、これは。この文面からいくと。そう理解していいですか。

白水隆弘教育次長

尼寺委員の御意見のとおりでございます。

以上です。

古賀和仁委員長

いいですか。

ほかになければ。

尼寺省悟委員

ちょっともう一言だけ。

私も、今お話聞いただけではなかなか、ちょっと理解しがたい面が多々あるんですけどね。それだけ言っておきます。

下田寛委員

それで、じゃあこれ、決定する時期はいつになるんですか。

白水隆弘教育次長

本日、皆様方にこの資料をお見せいたしまして、過日、教育委員さんたちにも定例会の中で御意見を頂戴いたしております。

そのあたりの意見をまとめまして、教育総務課含めた教育委員会として結論を早急に出してまいりたいと考えております。

以上でございます。

古賀和仁委員長

いいですか。

下田寛委員

これ、確か設計図などの予算などはそのままスライドしてできるという話だったんで、今後、特に議会に上程されるようなこともないことになるんですよね。

白水隆弘教育次長

今、副委員長がおっしゃったとおりになります。

議案としてお示しする部分としては、ない部分が多くなろうかと思いますけれども、食べることと排便することというのはイコールですので、当然、食育にも力を入れてきておりますように、排便のことも、配慮のこともですね、同様に考えてまいりたいと考えているところでございますので、この件に関しては、例えばこのようなかじを切りましたとか、このようなデザインになりましたとかいったことに関しましては逐次機会をいただいてお示ししたいと考えております。

以上でございます。

松隈清之委員

予算は、例えば、今までの聞いてたやつは、要は和式を洋式化するという予算だったよね。

そのときは、多分、小便器は扱わないっていう前提だったのかな、全く。それとも、小便器は小便器で、小便器として改修するっていう予算だったのかな。

原祥雄教育総務課総務係長

昨年12月にいただいた、小中学校トイレ洋式化に関する設計業務の委託料の件ですけれども、予算上程の際には、小便器については、老朽化したものであるとか構造的ににおいが発生するような、しやすいような構造の小便器については全て取りかえるように考えておりまして、その考えを持って設計業務のほうを発注してきたところです。

ただ、２月の終わりになりまして、小便器をまたつけるのかと。要は、この性的マイノリティであるとか、松隈委員がおっしゃったように排便をしづらいような子供たちの状況があ

ることに対して、幾らか施設的な配慮が必要なのではないかというような議論になりまして、今回、アンケートをとったところでございます。

ですので、発注した際、もともとは小便器をそのまま残すような形で想定をしていたけれども、途中で考え方を少し緩めたということになっております。

松隈清之委員

そうじゃなくて、工事費としてはさ、さっき言った構造的な部分に関しては取りかえて小便器をまたつけるっていうことだったけれども、そうじゃないところは小便器は全く扱わずにブースだけ洋式化、和式のところを洋式化するだけの予算だったと思っていいのかな。

じゃあ、そのまま残る小便器もあったということかな、前は。

白水隆弘教育次長

ちょっと誤解のないように申し上げますけれども、トイレそのものを、今、湿式ですので乾式に全部変えますので、ドライ床にですね。ですので、小便器もある程度いじらないとできない部分が出てまいります。

今、申しましたのは、構造的に悪い部分、例えば配管だとかそういった部分は残して、例えば器具だけをつけかえるとかいうものが一つ。それから、もう一つ、構造的にもう腐食が激しいものとかは内部の管ごとかえるといったようなものの２種類が考えられるということで、既存の発注がなされておるという説明でございます。

松隈清之委員

いや、端的に言うと、小便器も全て交換する予算が、初めからあったっていうふうに理解していいんですかってこと。

原祥雄教育総務課総務係長

松隈委員、御指摘のとおりです。

小便器もかえますし、トイレの給水管、壁の中の給水管であるとか、そういったところも全て更新することで予算要求をさせていただいたところです。

松隈清之委員

だからそれが、洋式化になっても個数が減るけん、金額的にはそこでおさまるっていうことなのかな、今の説明は。

原祥雄教育総務課総務係長

工事費といたしましては、議決いただいた予算の中で完了できます。

松隈清之委員

早急に決めるとおっしゃられましたけどね、結構、トイレをどう考えるかっていうのは教育的にですよ、教育的に。もちろん施設としては、別に個室の洋式化だけでも全然困らない。

困らないんですよ、もちろん。

むしろそのほうが望ましいという人も、多分子供も保護者もおるかもしれん。

ただ、本当にそれが、今後社会に出ていく子供たちにとって望ましいかどうかっていうような教育的視点で考えるべきやと思う。

以上です。

古賀和仁委員長

ほかにありませんか。

〔発言する者なし〕

それでは、小中学校トイレについての質疑を終わります。

執行部の方はこれで、大変御苦労さまでございました。

〔教育委員会事務局職員退席〕

ᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕ

下野園の現地視察を終えて

古賀和仁委員長

４月６日の日に委員会のほうで下野園に行った分についての、下野園視察について御報告っちゅうことで、下田委員のほうから御提案があってますので、これについて協議をしたいと思います。

暫時休憩します。

午前11時39分休憩

ᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕ

午前11時39分開議

古賀和仁委員長

再開します。

下野園視察についての御報告を議題といたします。

下田寛委員

今、お手元に配らせていただいているとおり、何らかの形で協議を、この前の視察をどう取り扱うかというのを御協議させてもらったほうがいいかなと思って、ペーパーにまとめてまいりました。

皆さんの忌憚のなき御意見をいただければと思っております。いかがでしょうか。

松隈清之委員

まず、我々が行くというその建前が、結果的にはなかったというのがまず一つね。

要は、その避難場でもなし、防災の観点も、ね。ないとすると、我々の委員会の管轄ではまずなかったと。完全に厚生常任委員会の管轄であるんで、それはそれで、本当に問題があったとすればね、一言言うのもあるかもしれんけど。

これは個人的な考えなんだけれども、避難経路についてはほかにも確保されているし、とりたててここが、避難に問題がある施設だとは見た感じはしないんですよね。

だから、下野園自体を今後どう考えていくのかっていうのは、もちろん健康福祉みらい部だけじゃなくてね、恐らく全庁的な議論もせないかんと思うんだけど、そういう意味では老朽化してるから検討はしていくべきなんだろうなとは思うけれども、今回視察したことに関して、委員会からとりたてて何かを言うこともない、かなと。

我々として、かかわるところがない、管轄外のところになっちゃってるからね、結果的に。

古賀和仁委員長

今、松隈委員より管轄外であって、避難場所にもなってないので、これについては特別に出すべきものでもないんじゃないかというふうな御意見ありましたけど、いかがでしょうか。

ほかに何かあれば。

松隈清之委員

ここにね、避難に支障が出ることが想定されるって、そういう考え方もある、人によってはね。

俺は、避難口としては確保されとるし、扉の引き戸のところが全部壁であったとしても、別に構造的にはおかしくない。避難経路は１カ所とれているから問題ないとは思うんだけれども。実際、基準はクリアしているからね。

とらなきゃいけない避難経路としては、避難口としては、基準はクリアしてるんで問題ないと思ってるけど、問題だと皆さんがおっしゃるんであればね、問題を看過しとくわけにいかんけん、管轄外ではあっても一言言うべきと思うよ。

ただ、俺は個人的に、見て避難に支障が出るレベルではないし、施設としての老朽化は問題だけれども、そこは我々の管轄外だから、とりたてて、現状、老朽化以上に指摘をするところがないと思うので、あえて言わなくてもいいんじゃないか言ってるだけ。

尼寺省悟委員

この、一番最後のね、下野園の取り扱いを含めて、施設の老朽化について云々についてはいろんな、これは問題があるし、地元の問題があるから、これはちょっと触れなくてもいいと思うけれども。

本来ならば、開閉すべきドアが開閉してないということはやっぱり公的な施設してそれはそれで問題であると思うったいね。それは、私は少なくともその視察したときに我々見たんだから、それはそれとして指摘はしたほうがいいんではないのかなとは思いますね。

古賀和仁委員長

ほか、ありますかね。

久保山委員、どうですか。

久保山博幸委員

言われるように、サッシ自体が開閉式となっとるんで開かないっちゅうのは、やっぱりまずいと思います。

改修する方向で意見を申し上げることは必要かなと思います。

古賀和仁委員長

ほかは。

〔発言する者なし〕

ちょっと休憩します。

午前11時44分休憩

ᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕᔕ

午前11時47分開議

古賀和仁委員長

再開します。

下野園視察についての報告については、出さないということでようございますかね、それで。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

それじゃあ、そういうことで。

ssssssssssssssssssssssssssss

古賀和仁委員長

本日の委員会は終了いたします。

午前11時47分閉会

鳥栖市議会委員会条例第29条の規定によりここに押印する。

鳥栖市議会総務文教常任委員長　　古　賀　　和　仁　　　㊞